

夏秋キャベツ

担当者 技能研究員 三上 益由

試験課題名	品種系統選定試験
目的	夏どりキャベツの地域に適応する品種系統の選定をするために比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により安定生産と秋小麦収穫後の生産技術の確立により、経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会キャベツ部会

1 供試品種・資材

品種

※ 藍春ゴールド(ノウリン) 涼 波(ホクレン) 北ひかり(タキイ)
YRデライトボール(みかど協和) Y R 初陣(中原採種場) 味王(トーホク)
コールサワー(トーホク)

※基準品種

2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～かぼちゃ

播種日～7月8日 定植日～8月5日 収穫日～10月24日

栽植密度～畦幅60cm×株間40cm 4,166株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
5.81	0.055	43.6	65.6	69.0	556.2	6.7

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

太古の風化貝～300kg 堆肥～2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥～NS604(16-10-14) 8月4日 全層施肥

分肥～BBNK20(20-0-10) 9月8日 側条施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

			N	P	K
基肥	NS604	80kg	12.8	8.0	11.2
分肥	BBNK20	30kg	6.0	-	3.0
合計			18.8	8.0	14.2

4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・結球期・収穫期・生育日数

収量調査～総重量・調整重・調整率・調整収量・慣行比・規格別割合・障害球

特性調査～球形指数・外観(球形・しまり・色)・食味(硬さ・食感)・糖度(Brix)

5 生育調査

項目	品種	藍春 ゴールド	涼波	北ひかり	YRデライト ボール	YR初陣	味王	コール サワー
	播種日	7月8日						
発芽期	7月12日	7月12日	7月12日	7月13日	7月11日	7月13日	7月12日	
発芽率(%)	91.8	96.1	98.4	98.4	89.0	92.2	96.6	
定植日	8月5日							
定植時の苗質	葉数(枚)	4.0	3.1	3.1	3.5	3.3	3.0	3.0
	葉長(cm)	5.1	5.0	5.4	5.5	4.7	4.7	4.6
結球期	9月22日	9月26日	9月22日	9月24日	9月29日	9月29日	9月24日	
収穫期	10月24日							
生育日数	108日							

6 収量調査

項目	品種	藍春 ゴールド	涼波	北ひかり	YRデライト ボール	YR初陣	味王	コール サワー
	総重量(kg/球)	2.4	2.4	2.2	2.3	2.3	2.2	2.3
調整重(kg/球)	1.6	1.4	1.3	1.9	1.3	1.3	1.6	
調整率(%)	66.7	58.3	59.1	82.6	56.5	59.1	69.6	
調整収量(kg/10a)	6,666	5,832	5,416	7,915	5,416	5,416	6,666	
慣行比(%)	100	87.5	81.2	118.7	81.2	81.2	100	
規格別割合(%)	6玉以上	70	50	30	90	40	30	60
	7~8玉	30	40	40	10	30	40	30
	9玉以下	0	10	30	0	30	30	10
障害球	生理障害(無0~4多)	0	0	0	0	0	0	0
	裂球(無0~4多)	0	0	0	0	0	0	0
	病虫害(無0~4多)	0	1	1	1	0	0	0

※規格 6玉 1.6kg以上 7~8玉 1.3~1.6kg未満

9~10玉 1.0~1.3kg未満

7 特性調査

項目	品種	藍春 ゴールド	涼波	北ひかり	YRデライト ボール	YR初陣	味王	コール サワー
	球形指数(%)	81.0	63.5	66.8	97.7	60.4	74.6	73.9
外観・ 食味	球形(良5~1不良)	3	2	2	3	2	3	3
	しまり(良5~1不良)	3	2	2	4	2	2	2
	色(良5~1不良)	3	2	2	3	3	2	3
	硬さ(良5~1不良)	3	3	2	3	3	2	3
	食感(良5~1不良)	3	2	2	3	2	2	2
糖度(Brix)	5.5	5.8	5.5	5.1	6.4	5.6	6.2	

8 病害虫防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
8月 5日	オンコルマイクロカプセル	100倍			
8月23日	トレボン乳剤	1,000倍	8月23日	ダコニール1000	1,000倍
9月 8日	オルトラン水和剤	1,000倍	9月 8日	スターナ水和剤	1,000倍
9月16日	アディオン乳剤	2,000倍			
9月22日	アドマイヤー顆粒水和剤	10,000倍			
9月30日	オルトラン水和剤	1,000倍	9月30日	トップジンM水和剤	1,000倍

9 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 育苗は7月8日に128穴セル成型トレーにプラグエースを充填播種し、発芽期は7月11日にYR初陣が始まり、1日遅れて藍春ゴールド・涼波・北ひかり・コールサワーが出芽し、YRデライトボールと味王はさらに1日遅れて7月13日となった。
- ② 発芽率は、北ひかり・YRデライトボールが98.4%で最も高く、最も低かったのはYR初陣の89.0%となったが、7品種の平均は94.6%で全体的に発芽は良好であった。
- ③ 定植時の苗質調査では、葉数が3.0枚～4.0枚、葉長が4.6cm～5.5cmと多少の差はあったが全品種ほぼ平均的に生育し、8月5日に定植を行った。
- ④ 結球期は藍春ゴールドと北ひかりが9月22日と最も早く、つづいてYRデライトボール・コールサワーが9月24日、涼波が9月26日、YR初陣・味王が9月29日となった。

(2) 収量・特性調査

- ① 収穫は10月24日に行い、生育日数は108日となった。球当たり調整重は、YRデライトボールが1.9kgで最も重かった。北ひかり・YR初陣・味王は1.3kgという結果となった。
- ② 調整後の規格別割合は、6球以上のサイズが涼波 50%、コールサワー 60%、藍春ゴールド 70%、YRデライトボール 90%であったのに対し、北ひかり・YR初陣・味王は30～40%で9球以下が30%でやや小球傾向であった。
- ③ 外観・食味は藍春ゴールドを基準の3(良5～1不良)として、YRデライトボールはしまりで4となったが、その他の品種は基準品種以下の評価となった。
- ④ 糖度は最も高かったのがYR初陣の6.4度、最も低かったのはYRデライトボールの5.1度という調査結果となった。

(3) 考察

コールサワーは調整収量が6,666kg/10aで基準品種である藍春ゴールドと並び高収量であったが、外観・食味のしまり・食感で2(良5～不良1)でやや劣る結果となった。

YRデライトボールは、調整収量 7,915kg/10aで基準品種を上回り、外観・食味においてもしまりで4となり高評価であった。しかし、定植時期によってはやや裂球・病害虫の目立つ場合もあったので、次年度は他品種も含め播種時期など検討し継続したい。